

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会(第44回)
議事概要(案)**

1 日時

令和7年4月4日(金) 10時から【Web会議形式】

2 議事

- (1) 衛星・科学業務委員会(第43回)議事概要(案)について
- (2) 衛星・科学業務委員会の運営及びワーキンググループの設置について(案)
- (3) ITU-R SG4関連会合(2024年10月)の報告書(案)について
- (4) ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年1月及び3月)の報告について
- (5) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)への日本寄与文書(案)について
- (6) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)について
- (7) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の対処方針(案)について
- (8) その他

3 配付資料

資料 衛・科-44-1 衛星・科学業務委員会(第43回)議事概要(案)
資料 衛・科-44-2 衛星・科学業務委員会の運営及びワーキンググループの設置について(案)
資料 衛・科-44-3 ITU-R SG4関連会合(2024年10月)の報告書(案)
資料 衛・科-44-4-1 ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年1月)の報告書
資料 衛・科-44-4-2 ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年3月)の報告書
資料 衛・科-44-5 ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)への日本寄与文書(案)
資料 衛・科-44-6 ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)
資料 衛・科-44-7 ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の対処方針(案)

参考資料1 第31回衛星業務WG結果報告
参考資料2 ITU部会決定第6号
参考資料3 ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の開催案内
参考資料4 衛星・科学業務委員会 構成員名簿
参考資料5 WRC-27議題一覧

※ 下線がある配付資料は不開示情報を含むものがあるため、出席者限りの取扱。

4 出席者(敬称略、順不同)

主 査 : 加藤 寧
構成員 : 藍澤 志津、新 博行、伊東 宏之、今村 浩一郎、岡崎 彰浩、河野 宇博、佐藤 祐子、下奥 あゆ美、菅 瑞紀、中川 勝広、中間 弘、廣瀬 幸、山條 朋子

5 議事概要

(1) 衛星・科学業務委員会(第43回)議事概要(案)について

資料 衛・科-44-1に基づき、衛星・科学業務委員会第43回会合の議事概要(案)の確認を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(2) 衛星・科学業務委員会の運営及びワーキンググループの設置について(案)

資料 衛・科-44-2に基づき、衛星・科学業務委員会の運営及びワーキンググループの設置について(案)の確認を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(3) ITU-R SG4関連会合(2024年10月)の報告書(案)について

資料 衛・科-44-3に基づき、ITU-R SG4関連会合(2024年10月)の報告書(案)について、事務局から説明を行った。

(4) ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年1月及び3月)の報告について

資料 衛・科-44-4に基づき、ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年1月及び3月)の報告について、事務局から説明を行った。

(5) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)への日本寄与文書(案)について

資料 衛・科-44-5に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)への日本寄与文書(案)の検討を行った。次の議論の後、構成員から承認を得た。

資料 衛・科 44-5-1 寄書本文(4A/J-1)及び資料 衛・科 44-5-2 寄書本文(4A/J-2)

NTTDコモ	各周波数の分配状況をまとめた表において、「○」や「×」といった表記をしているが、日本と海外では「○」と「×」の解釈が異なるため、凡例を記載する等、混乱を招かないように修正すべき。
新構成員	
B-SAT正源氏	ご指摘のとおり修正する。

資料 衛・科 44-5-3 寄書本文(4A/J-3)

NTTDコモ	Attachmentに、勧告BO.1900の改訂案を記載しているところ、本勧告の改訂はまだ完了していないので、「Recommendation ITU-R BO.1900-1」と記載しているAttachmentのタイトルを、寄書本文のタイトルに合わせて「WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BO.1900」とすべき。
新構成員	

B-SAT正源氏	ご指摘のとおり修正する。
NTTドコモ 新構成員	Annex 1の脚注で 「In the band 17.3-17.8 GHz, the minimum value of D/λ ratios is 25.95.」 という記載を追記しているが、これは測定結果に基づくことから、既存の21.4-22 GHzの書きぶりと異なる表現にしていると理解した。なお、同じ箇所 「Further study is needed when using this antenna pattern with antennae having a smaller D/λ ratio.」 という記載を削除しているが、 D/λ の値が小さいものについてはさらなる検討が必要であるということであれば、この記載は削除しなくてもよいと考えるが、何か削除すべき理由等あるのか。
B-SAT正源氏	削除しても良いが、どうするのかは現地の議論次第だと考えるので、現地で関係者と調整する。
NTTドコモ 新構成員	承知した。今回の寄与文書においては当初のとおり、該当の記載をあえて削除しておき、現地で議論する形が良い。

資料 衛・科 44-5-4 寄書本文(4A/J-4)

NTTドコモ 新構成員	Attachmentに、勧告BO.1443-3の改訂案を記載しているところ、本勧告の改訂はまだ完了していないので、「Recommendation ITU-R BO.1443-4」と記載しているAttachmentのタイトルを、寄書本文のタイトルに合わせて「WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BO.1443-3」とすべき。
B-SAT正源氏	ご指摘のとおり修正する。

資料 衛・科 44-5-6 寄書本文(4AB/J-1)

NTTドコモ 新構成員	本寄与文書は、衛星通信ハンドブックに関するものであるが、携帯電話に関する内容についても多く記載されている。この点問題ないか。
事務局	衛星通信ハンドブックであるため、携帯電話をメインピックとする形にはしないようにする。一方で、半導体技術の進展はさまざまな分野に影響を与え、衛星もその中の一つであるという観点もあるため、全体の流れの中で携帯電話についても触れてもよいと考える。バランスを見ながら修正したく、当該部分の作成元である東北大学に依頼する。

NTTドコモ 本寄与文書では、ITUで一般的に使用されている表現とは異なるものが使用されている箇所がある。軽く触れる程度であれば問題ないが、移動通信の進展に関する図(Figure 11)等、詳細なものについては修正すべき。

事務局 本寄与文書の内容は将来的にITUの文書となるので、ITUで一般的に使用されている表現を用いる形とすべく修正する。

資料 衛・科 44-5-8 寄書本文(4C/J-2)

NTTドコモ 英文の寄与文書の2ページ目において、「For the technical characteristics of the RNSS systems in the frequency band,」と記載されている文があるが、in the frequency bandの部分に具体的な周波数の数字の記載が無くてもよいのか。

JAXA (ス カ 具体的な周波数の値としては5010-5030MHzであるが、記載が漏れていた。この点追記修正する。

パーJSAT)

三留氏

資料 衛・科 44-5-12 寄書本文(4C/J-6)

NTTドコモ 提案内容の分量が非常に多く、また、早期にまとめていく必要があると認識している。現地で他国からの支持が得られない場合に、提案内容を絞る等、柔軟な対応が必要である。例えば、5.1.1章の内容は国内マターの話であるため、この点は無理にITU-Rの文書に盛り込まなくともよいと考える。

楽天モバイル 関係者と調整し、提案内容の優先順位付けを行う等、柔軟な対応ができるようにする。

宇都宮氏

NTTドコモ 寄与文書の12ページ目において、許可されていない国からUEへのアクセスがあった場合、MNOが責任をもってアクションするという記載があるが、MNOの立場としてこのような対応が現実的に可能か自信を持ってない。前段で主管庁のアクションに関する記載があるところ、例えば「主管庁と協力して対応する」等、MNOのアクションについてもう少し表現を弱めていただきたい。

楽天モバイル ご指摘を踏まえ表現を修正する。

宇都宮氏

資料 衛・科 44-5-14 寄書本文(4C/J-8)

NTTドコモ Attachment中の第3段落で、「WP 4C may provide the

新構成員 finalized information [in the next WP 4C meeting]]
という記載があるが、少々日和見であるという印象を受けるため、「以下の情報を提供します」という一文のみ記載し、リエゾン文書の後半にて「追加の情報があれば次回以降で、WP4CからWP5Dにリエゾンを送付する」という旨を記載する形がよい。
また、「Illuminated power」という表現は一般的ではなく、これは地表面のpfdレベルのことを指すものと認識しているところ、これがわかる表現にすべき。
「Aggregated interference of space stations of more than one [DC-MSS] system」の記載について、同一地域、同一周波数を用いて複数のDC-MSSシステムでの共存は難しいため、1つのMSSシステムからの干渉を検討し、特殊なケースがあれば別途検討すればよいという趣旨かと認識しているところ、これがわかる表現にすべき。

KDDI棟形氏 いただいた3点のご指摘を踏まえ、修正する。

(6) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)への外国等寄与文書の審議表(案)について

資料 衛・科-44-6に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の外国等寄与文書の審議表(案)の検討を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(7) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)への対処方針(案)について

資料 衛・科-44-7に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の対処方針(案)の検討を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(8) その他

事務局から、次回委員会の日程の案内と、専門委員に対し、所属の変更等が生じた場合、随時事務局まで連絡するよう報告した。

以上